

認知症の方の様子の変化と家族の心構え・状態に合わせて利用できる支援の一覧表

認知症の進行及び症状・経過には個人差があります。
認知症と診断されても、ひとりで抱え込まず、医療や介護サービス、その他の支援を上手に活用しましょう。

	気づきの時期 (変化が起きた時期)	発症した時期 (日常生活で見守りが必要)	症状が多発する時期 (日常生活に手助け・介護が必要)	身体面の障害が複合する時期 (介護が多い場面が必要になる)	終末期 (常に介護が必要)
本人の様子	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等は自立している。 □約束を忘れることがある。 □言葉が出にくく「あれ」「それ」を言う。 □不安や焦りがあり、怒りっぽくなる。	買い物や金銭管理等にミスがみられるが、日常生活は、なんとか自立している。 □曜日や日にちが分からない。 □同じことを何度も言ったり聞いたりする。 □買い物で小銭が使えない。 □物を盗られたと言う。	服薬管理や金銭管理ができず、電話や訪問者の対応が一人では困難。 □季節に応じた服が選べない。 □外出先から家に戻れない。 □今まで使っていた電気製品が使えない。 □薬の飲み忘れが目立つ。	着替え・入浴・食事・トイレ、日常の動作に手助け、介護が必要になる。 □家族の顔や名前が分からなくなる。 □会話が成立しなくなる。 □食べ物でないものを口に入れる。 □尿意や便意を感じにくい。	寝たきりで食事をとることが困難。 言葉による意思疎通が困難。 □日中うつらうつらしていることが多く反応が少なくなる。 □誤嚥や肺炎を起こしやすい。
思い	・これからどうなるのか不安なとき、周りから「もっとしっかりして」と言われると苦しい。	・できないことが増えるが、できることもたくさんあることを知ってほしい。 ・頭の中に「もや」がかかっているようで、不安や焦りを感じている。	・言葉で伝えられなくても、うれしい・楽しい・悔しい・悲しいなどの感情があることを分かってほしい。		
ご家族の方へ	・周囲の気づきがとても大切です。 ・いつもと違うと感じたら、早めに相談・受診をすすめましょう。 ・さりげなく手助けしましょう。 ・本人の役割を作りましょう。	・できないことや間違いがあっても、責めたり否定しないようにしましょう。 ・火の不始末や道に迷うなどの事故に備えて、安全対策を考えましょう。 ・今後の生活設計について話し合っておきましょう。 ・ひとりで悩みを抱え込まず、身近な人や専門家に相談しましょう。 ・介護の負担が増えてくる時期です。介護保険を申請しましょう。 ・脱水や便秘、不眠などは、症状を悪化させる原因になることがあります。 毎日の健康管理を大切にしましょう。	・医療や介護サービス等を上手に活用し、介護負担を減らすようにしましょう。 ・どのような終末期を迎えるか家族間でよく話し合っておきましょう。		
相談	かかりつけ医・地域包括支援センター・若年性認知症コールセンター・保健所 ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）				
予防	介護予防教室・シルバーリハビリ教室・老人クラブ・サロン・サークル活動など 介護予防サービス（通所介護・通所リハビリなど）				
介護	介護サービス（訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・通所介護・通所リハビリ・短期入所など）				
医療	かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局・認知症疾患医療センター・認知症専門医療機関				
見守り	緊急通報システム・配食サービス・ふれあい電話・愛の定期便・認知症サポーター 徘徊高齢者等SOSネットワーク事業・どこシル伝言板・徘徊高齢者等家族支援サービス				
家族支援	紙おむつの支給・家族介護慰労金・ねたきり高齢者理美容料助成				
権利擁護	日常生活自立支援事業 成年後見制度				
住まい	自宅 軽費老人ホーム（ケアハウス）・高齢者向け住宅（サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム） グループホーム・介護老人保健施設・小規模多機能施設 特別養護老人ホーム				

徘徊高齢者等SOSネットワーク事業・どこシル伝言板

- ◆徘徊高齢者等SOSネットワーク事業とは？
氏名や本人の状況等を事前に登録し、行方不明になった時に協力機関や協力員によるネットワークを活用して、早期発見に繋げる事業です。
- ◆どこシル伝言板とは？
衣服や持ち物等に貼ったQRコードを読み取ると、インターネット上の伝言板が表示されます。QRコードの読み取り時や伝言板への書き込みがあった際など、保護者へ瞬時にメールが送信されます。伝言板のやりとりでは個人情報を開示することなく、「発見～保護～ご家族への引渡し」まで安心・安全・迅速に行えます。
- ◆問合せ：稲敷市役所 高齢福祉課高齢福祉担当 ☎029-892-2000（代）

稲敷市認知症初期集中支援チーム

- 認知症の専門職からなるチーム員がご自宅を訪問し、必要な医療やサービスなどにつながるお手伝いをします。
- ◆問合せ：高齢福祉課地域包括支援担当 ☎029-892-2000（代）

いなしきオレンジカフェ（稲敷市認知症カフェ事業）

- 認知症の方やそのご家族、医療や介護の専門職、地域の方などが参加し、自由に語り合う場です。実施日時・場所は変更が生じる可能性がありますので、参加ご希望の方は、お問い合わせください。
- ◆問合せ：高齢福祉課地域包括支援担当 ☎029-892-2000（代）